

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職： 地震・防災研究課企画調整係長

氏名： 山口茉優

受入れ局課室名	研究開発局地震・防災研究課			
募集学校種 ※短期コース	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
募集学校種 ※長期コース	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
受入れ期間 ※短期コース	2月5日～3月9日 (上記期間中で1人につき、原則2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	1人
受入れ期間 ※長期コース	2月5日～3月9日 (上記期間中で1人につき、3週間～5週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	1人
選考時の面接の 実施予定	短期 コース <input type="checkbox"/> 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし	長期 コース <input type="checkbox"/> 予定あり <input checked="" type="checkbox"/> 予定なし		
受入れ条件	地震・防災分野及び火山分野に関する政策に興味のある学生(特に地震、火山分野)			
実習内容	我が国は、地震や津波、火山噴火、台風など自然災害が多く発生する地域に位置しており、近年においても、熊本地震や東北地方太平洋沖地震、広島土砂災害や御嶽山の噴火等により多くの被害が出ています。地震・防災研究課では、こうした自然災害による被害の軽減を目指した研究開発を推進しています。一方、このような研究開発を通じて得た知見や、研究開発の現状について、一般の国民に正確な情報を提供し、理解してもらうことは、一人一人の国民の防災意識を高めるためにも非常に重要です。インターンシップでは、主に地震・防災分野や火山分野の研究開発の促進に関わる業務や、広報の在り方についての検討、各種会議の準備、傍聴などの行政の仕事を経験してもらい、最終日には成果報告会での発表を予定しています。			
受入れ局課室紹介	地震・防災研究課では、地震や津波、火山噴火、台風、豪雪などの自然災害による被害の軽減を目指した研究開発を推進しています。 具体的には、 ・地震調査研究推進のための方針を立案し、地震の発生確率・規模の予測精度向上や、地震発生メカニズム解明に向けた調査研究を実施しています。 ・想定される地震が発生した際の社会的・経済的被害が大きい南海トラフの地震や首都直下地震等を対象とした大規模な調査観測・研究プロジェクトを実施しています。 ・火山分野については、御嶽山の噴火以前から継続していた従前の観測研究に加え、他分野との連携・融合を図り、「観測・予測・対策」の一体的な火山研究及び広範な知識と高度な技能を有する火山研究者の育成・確保を推進しています。(次世代火山研究・人材育成プロジェクト) ・防災については、実大三次元震動破壊実験施設(E-ディフェンス)を利用した耐震技術に関する研究のほか、様々な自然災害に対応した防災科学技術の研究開発を推進しています。 地震・火山・防災研究分野関連の業務に興味のある方の参加をお待ちしています。			
受入れ局課室からの 一言	地震・防災分野及び火山分野の研究開発の促進に関する行政に興味・関心のある積極的な学生を歓迎いたします。			
過去の参加者の声	課の業務内容や、私が行う作業について丁寧にわかりやすく説明していただいた。			

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：総括係長
氏名：天野力允

受入れ局課室名	研究開発局海洋地球課			
募集学校種 ※短期コース	<input type="radio"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="radio"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
募集学校種 ※長期コース	<input type="radio"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="radio"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
受入れ期間 ※短期コース	2月 5日～ 3月 9日 (上記期間中で1人につき、原則2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	1人
受入れ期間 ※長期コース	2月 5日～ 3月 9日 (上記期間中で1人につき、3週間～●週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数)	1人
選考時の面接の 実施予定	短期 コース 予定あり 予定なし	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	長期 コース 予定あり 予定なし	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
受入れ条件	文部科学行政に興味のある方。特に、地球深部探査船「ちきゅう」、有人潜水調査船「しんかい6500」、海洋鉱物資源の研究、北極・南極観測、深海生物など、海洋科学技術関係の業務に興味のある方の御応募をお待ちしております。			
実習内容	海洋地球課で行っている以下のような幅広い業務に触れていただくことを想定しています。 ・海洋・極域分野の研究開発の推進に関する政策の企画・立案 ・国際的な枠組における研究開発計画の推進、関係省庁・機関との打合せ ・施策情報の発信(HP等)、シンポジウムへの対応 等 ※ 具体的な実習内容については、実習生の希望を踏まえて決定いたします。 ※ また、業務日程や実習者の希望に応じて国立研究開発法人海洋研究開発機構等の施設見学等を行う可能性もあります。			
受入れ局課室紹介	我が国は、世界第6位といわれる広大な領海と排他的経済水域を有し、そこには世界の海洋の縮図が存在しています。このような海を知り、活用していくことは、我が国が海洋国家として発展していくために必要不可欠なことと言えるでしょう。また、海洋の諸現象の解明は、地球環境問題の解決、海溝型巨大地震への対応、海洋資源の開発など、我が国のみならず今後の人類の発展に深く関わる重要な課題の解決を図るためにも必要です。 海洋地球課では、海洋・極域分野における研究開発を海洋立国日本の重要な使命と位置づけ、国立研究開発法人海洋研究開発機構や国立極地研究所、国内外の大学・研究機関等と協力しながら、様々な課題に取り組んでいます。			
受入れ局課室からの 一言	海にロマンを感じる人の積極的な参加を歓迎します			
過去の参加者の声	お忙しい中、実習中常に気を配って下さり、分からないことや気になることがあればいつでも質問を受けてくださったり、実習課題の進捗チェックやアドバイスをしてくださったから。また、たくさんの職員の方のお話ができる機会や、視察に伺わせて頂ける機会を作るために色々とお手配してくださった			

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：課長補佐
氏名：亀田 恒治

受入れ局課室名	研究開発局環境エネルギー課		
募集学校種 ※短期コース	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
	(○がマークされている部分が希望学校種となります)		
受入れ期間 ※短期コース	2月 5日～ 3月 9日 (上記期間中で1人につき、原則2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) 1人
選考時の面接の 実施予定	短期 コース	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>	
受入れ条件	地球温暖化対策、気候変動適応、低炭素社会実現といった、グローバルかつダイナミックな政策課題に挑戦したいという気概がある方。(専門知識は不要です。) なお、Word・Excel・PowerPointなど、パソコンの基本操作ができることが望ましい。		
実習内容	平成27年12月に2020年以降の温室効果ガス削減等のための新たな国際枠組みとして、「パリ協定」が採択されるなど、気候変動問題は、国際社会の重要な課題となっています。 科学技術の側面から、国際的な課題である気候変動問題の解決に貢献するため、グローバルな気候変動に対する「緩和」(省・蓄・創エネルギー)と「適応」(気候変動予測・対策)のための政策として文部科学省が取り組むべきミッションを国家戦略全体の中で俯瞰し、新しい施策の企画・立案や諸外国との調整、経済産業省や環境省をはじめとする関係府省庁との連携など、多様な業務の一端に触れていただきます。 また、文部科学省の職員へのインタビューや関係研究機関等への視察を通じて、文部科学省の仕事への理解を深めていただきます。		
受入れ局課室紹介	文部科学省では、地球温暖化による気候変動問題を解決するため、温室効果ガスを削減しつつ、持続的な発展を可能とする「低炭素型社会」への転換を目指した研究開発を推進しています。具体的には、 ・気候変動に関する予測技術に係る研究開発 ・地方公共団体における気候変動適応策の立案・推進の支援 ・IPCC(気候変動に関する政府間パネル)をはじめとした国際枠組みへの貢献 ・電力消費の大幅な効率化を可能とする次世代半導体の研究開発 ・温室効果ガス排出を大幅に削減する革新的な技術開発(従来の10倍のエネルギー密度を持つ蓄電池や、世界最高強度・最高耐熱のバイオプラスチックの研究開発等) など、大学、研究開発法人(理化学研究所や物質・材料研究機構等)、企業等の第一線の研究者とのインタラクションを通じ、様々な環境エネルギー技術の研究開発に取り組んでいます。		
受入れ局課室からの 一言	環境エネルギー分野の研究開発の推進に興味・関心のある学生を歓迎いたします。		

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：開発係長

氏名：鈴木 光史

受入れ局課室名	研究開発局宇宙開発利用課		
募集学校種 ※短期コース	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input checked="" type="radio"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
募集学校種 ※長期コース	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input checked="" type="radio"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
受入れ期間 ※短期コース	2月 5日～ 3月 9日 (上記期間中で1人につき、原則2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) 1人
受入れ期間 ※長期コース	2月 5日～ 3月 9日 (上記期間中で1人につき、3週間～5週間、延べ10日間程度)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) 1人
選考時の面接の 実施予定	短期 コース <input type="checkbox"/> 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし	長期 コース <input type="checkbox"/> 予定あり <input checked="" type="checkbox"/> 予定なし	
受入れ条件	「宇宙・航空」の研究開発に興味・関心があり、将来、行政機関等での仕事を希望している方 (専門知識は必要ありません。)		
実習内容	研修生の希望を最大限考慮しながら、新型基幹ロケットであるH3ロケット、技術試験衛星9号機や先進レーダ衛星(ALOS-4)、我が国初の月への着陸を目指す小型月着陸実証機(SLIM)や国際宇宙ステーション(ISS)計画、航空機の性能向上や将来の革新的な航空機の研究開発等に関する業務のサポートを通じて、我が国における宇宙開発利用・航空科学技術の最前線を体験していただきます。		
受入れ局課室紹介	宇宙開発利用課では、文部科学省の所掌する宇宙・航空政策に関する仕事をしています。具体的には、宇宙航空研究開発機構(JAXA)を所管し、日本における宇宙・航空の研究開発・利用などに関するプロジェクトの企画立案や進捗管理、予算編成を行うとともに、H3ロケット等の基幹ロケットや先進光学衛星(ALOS-3)、光データ中継衛星等の衛星の開発、宇宙科学・探査分野において日本の将来を担う若手の育成に向けた施策実現の促進、航空機の事故防止・静音化・燃費向上や超音速機等の次世代航空機の研究開発等について、国の立場としての業務を実施しています。また12月から長期滞在する金井宇宙飛行士をはじめ多数の宇宙飛行士が活躍している国際宇宙ステーション(ISS)計画等に関する活動を通じ、NASAやESA等との国際協力業務も行っています。 「宇宙・航空」に関わる業務に興味のある方の参加をお待ちしています。		
受入れ局課室からの 一言	「宇宙・航空」というフロンティアに関する業務は常に困難な課題に立ち向かう必要があります。困難な課題への対応を学ぶことで自身の将来の可能性を広げたい！という意欲にあふれる方をお待ちしています！！		
過去の参加者の声	私のために何を体験するのがよいのかを考え、インタビューや視察のセッティングなどをしてくれました。とても優しく丁寧に指導していただいて、お昼ご飯や晩御飯と一緒に食べてくださったり業務時間外でもとてもよくしていただきました。		

平成29年度春期文部科学省インターンシップ受入れ計画

指導担当者役職：専門官
氏名：小林 遼平

受入れ局課室名	研究開発局原子力課		
募集学校種 ※短期コース	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
募集学校種 ※長期コース	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
受入れ期間 ※短期コース	2月26日～3月9日 (上記期間中で1人につき、原則2週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) 1人
受入れ期間 ※長期コース	月 日 ～ 月 日 (上記期間中で1人につき、3週間～●週間)		受入れ人数 (期間内の合計受入れ数) 人
選考時の面接の 実施予定	短期コース 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input type="checkbox"/>	長期コース 予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>	
受入れ条件	ワード、エクセル、パワーポイント等の基本的なパソコン操作ができること。		
実習内容	<p>【原子力課各係の業務補助を通じた行政実務の経験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎資料の作成、データ修正、集計及び分析 ・委員会・作業部会の準備、運営補助及び傍聴 <p>※具体的な実習内容については、参加者の興味関心、希望等を考慮して計画する。</p>		
受入れ局課室紹介	<p>原子力課では、国として戦略的に重要な原子力の研究開発を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原子力災害からの復興を加速させるために、廃止措置・除染等の必要な研究開発を推進しています。 ○研究機関や大学におけるシビアアクシデント研究等の原子力安全確保等に貢献する基礎基盤研究・人材育成の取組を推進しています。 ○放射性廃棄物の減容化・処理処分の研究開発を推進しています。 ○高速炉の実証技術の確立に向けた研究開発を推進しています。 ○日本原子力研究開発機構を所管し、その運営に携わっています。 		
受入れ局課室からの 一言	原子力に関する政策に興味・関心をお持ちの方の参加をお待ちしています。		